

令和6年

季刊

春季号

Vol.89

亞東



賴清德 第16代總統 就任式 2024年5月20日



一般社団法人日本台湾親善協会

Japan-Taiwan Friendship Association



一般社団法人日本台湾親善協会の概要

名称 一般社団法人日本台湾親善協会

(英文名 Japan-Taiwan Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに民主主義と自由を信条と

する日本と台湾との相互理解と交流を促進して

日本と台湾との関係強化と発展に寄与する。

事業

① 日本と台湾との政治、経済、文化に関する調査研

究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出

版

② 日本と台湾との文化、芸術の相互の紹介

③ 日本と台湾との経済協力の推進に必要な情報の収

集及び斡旋

④ 我が国に在住する台湾関係者及び在日留学生に対

する交流事業

⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業

日本台湾親善協会の変遷

社団法人日本台湾親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南俱樂部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、俱樂部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

二〇一二年一月二六日「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、二〇一三年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任され、会長代行の大江康弘参議院議員が就任、二〇一八年五月からは元衆議院副議長の衛藤征士郎先生が会長に就任されました。

日本と台湾との友好交流を発展させ関係の強化を図り、アジアの繁栄と平和に貢献するため二〇一八年九月に名称を「日本台湾親善協会」に変更しました。会員一同、会長のもと、叡智を結集し努力を続けています。

季刊「亜東」令和六年 春季号・目次

一般社団法人日本台湾親善協会・概要・変遷

三頁

目次・協会役員名簿

四頁

「令和六年新春互礼会」を開催

五頁

頼清徳 第16代総統 就任演説

― 民主、平和、繁栄の新台幣を築く ―

七頁

第16代 総統 副総統 就任 公式晩餐会

「国宴」は台南で開催

一六頁

台湾地震義援金寄附者名簿

一八頁

事務局だより

一九頁

令和5年5月22日 現在

役員名簿

名誉会長 会長 副会長	玉澤徳一郎 衛藤征士郎 山本順三 並木正芳	張岩田	建国善信	張	碧華				
専務理事	赤松 則宏								
業務執行理事	藤山榎本	雅康有里	笹岡 恭亮						
理事	23名 衛藤征士郎 赤松則宏 森田康郎 岩田善信 熊沢正幸	張藤山城 岩多浅見	建国康英 雅光貴哲	張益山 榎本藤 柴田	碧華茂 有里淑 光徳	山本伊野 富田岩本	順三晴 雅家彰 起子	並木笹岡 明石富田	正芳恭 散人亮 茂之
監事	2名	李 八口ル	鈴木 慶一						
事務局		赤松 則宏	李 孔曉						

一般社団法人 日本台湾親善協会

「令和六年 新春互礼会」を開催

本協会は二月六日、「令和六年 新春互礼会」を都内のホテルポール麹町で開催した。会場には玉澤徳一郎名誉会長、本協会の顧問を務める衆参両院の国会議員、役員および会員、各僑胞団体のリーダー、台北駐日経済文化代表処（駐日代表処）からは蔡明耀副代表をはじめ各部門の責任者らが出席した。



今年初の役員会の後に開かれた新春互礼会では、別の公務のため退席した衛藤征士郎会長に代わり、山本順三副会長が登壇し挨拶した。山本副会長は「この中で、能登半島地震に際し、台湾から多くの義援金が寄せられたことに感謝の意を表した。今後の台日関係についても、「日本と台湾がしっかりと連携し、出席者の皆さんにも支えていただき、両国のこれからの繁栄に向けて共に進んでいきたい」と述べた。

駐日代表処の蔡副代表は、

先ごろ行われた台湾の総統選挙で、頼清徳副総統が当選演説の際に、これからも蔡英文総統の兩岸政策を継承し、台湾の安全、主権を守り、地域の平和と安全を維持するため、に努めていくと表明したことを紹介した。その上で、蔡副代表は「台湾は中国の圧力には決して屈服せず、台湾の自由と民主主義の尊厳を守っていく」と強調し、引き続き日本側関係者らの支援および協力を呼びかけた。

日本台湾交流協会の大橋光夫会長も挨拶の中で、先ごろの総統選挙および立法委員（国会議員）選挙について言及し、自由と民主主義を守るために台湾の人々が自分たちで決断した結果であると述べ



た。今後についても、台湾の各分野における活躍と世界でさらなる存在感を示すことに期待を寄せた。



玉澤名誉会長による乾杯の音頭の後には、会場のいたるところで和やかな交流が行われた。張碧華副会長は、閉会挨拶の中で、「本協会は平和の理念を持ち続けて七〇年以上だ。今後も日本と台湾のより一層の協力と友好、アジアさらには世界の平和を切に願っている」と述べた。



賴清徳第16代總統就任演説
——民主、平和、繁榮の新台幣を築く——



蕭美琴副總統、各友好国の元首とご来賓の皆様、各国の駐台使節の代表、会場にお集りの皆様、テレビの前、並びにライブ配信をご覧の皆様、全国民同胞の皆様、こんにちは！

私は若い頃、医者になって人々を救おうと決意しました。

私は政界に入ったとき、台湾を変えようと決意しました。

今、私はここに立って、国を強くする決意をしています！

私は、極めて揺るぎない心をもって、国民の負託を受け、中華民国第一六代總統に就任いたします。私は、中華民国の憲政体制に基づき、国を前進させる重責を担うべく取り組んでまいります。

振り返ってみると、一九四九年の今日、台湾は戒嚴令を施行し、全面的に独裁の暗黒時代に突入しました。

一九九六年の今日、台湾で初めて民選による總統が宣誓就任し、国際社会に中華民国台湾は主権独立国家であり、主権は民にあるというメッセージを伝えました。

二〇二四年の今日、台湾は三回の政權交代を経験したのち、初めて同じ政党が連続で政權与党となり、正式に三任期目を展開します。台湾はまた、チャレンジに満ち溢れ、また無限の希望を育む新しい時代に帆を挙げて進もうとしています。

このプロセスは、この土地に暮らす人々が次々と勇敢に突き進み、犠牲を払い献身した結果によるものです。大変でしたが、私たちはやり遂げました！

この瞬間、私たちは新政權の発足に立ち合っているだけでは

く、苦勞して勝ち取った民主主義の勝利を再び迎えているのです！

多くの人々は、私と蕭美琴副總統の当選を「八年ごとに政権交代が行われるというジंकスを打破した」と解釈していますが、実際には、民主主義は国民が主人公であり、すべての選挙に幻想的なジंकスなどは存在しません。あるのは国民の政権与党に対する最も厳しい検証であり、国の将来に対する最も現実的な選択だけです。

私は、過去八年間にわたる蔡英文前總統、陳建仁元副總統、並びに行政チームの努力に感謝したいと思います。彼らは台湾の発展のために堅実な基礎を築いてくださいました。皆さん、どうぞ彼らに熱い拍手を送ってください！

また、国民同胞の支持にも改めて感謝します。外部勢力に影響されず、民主主義をしっかり守って前進し、過去を振り返らず、台湾のために歴史の新たなページを開いてくれたことに感謝します！

私は、これからの在任期間中も毎日、



「正義を行い、慈しみを愛し、謙虚な心」を持ち、「国民を自分の家族として扱い」、あらゆる信頼と負託に恥じぬよう応えてまいります。新政権はまた、真面目にコツコツと最善のパフォーマンスを発揮して、国民による検証を真摯に受け止めます。我々の施政は革新を繰り返し、台湾政治の新しい姿を創り出します。

一、行政と立法の協調と連携により、共同で国政を推進する
今年二月に発足した新国会は、台湾で一六年ぶりに「三つの政党がどれも過半数を超えていない」立法院となりました。この新たな政治情勢に期待を抱く人もいれば、不安を抱く人もいます。

私が皆さんに伝えたいのは、これは全国民が選択したニューモデルだということです。新たな思考で「三つの政党がどれも過半数割れ」の状況を見るならば、これは与野党がそれぞれ各自の理念を共有し、国のさまざまなチャレンジを共同で担っていけることを意味しているからです。

しかし、全国民は政党が理性的な政治を行うことに対して大きな期待を寄せています。政党が競争だけでなく、協力の信念をもってこそ、国ははじめて着実な歩みを進めることができるのです。

立法院の審議活動は手続き上の正義を遵守し、多数派が少数派を尊重し、少数派が多数派に従うことによつてのみ衝突を回

避け、社会の安定と調和を維持することができます。

民主主義の社会では、国民の利益が第一とされます。これが民主主義の根幹です。国の利益は政党の利益より優先されます。これは政党の本分です。与野党が法案を推進するにあたり、ともに憲法に適合し、「国民第一」、「国家優先」の精神を貫いていければ、国政は自然と円滑に進むでしょう。

行政院の卓榮泰院長が率いる内閣チームも、社会にとつて有益で政府と野党の合意が得られる課題を優先的に解決し、積極的な行動と革新的な思考で世論に応え、国民に奉仕するでしょう。

去る四月三日に発生した震災の復旧作業が現在も進められています。犠牲になられた方々に改めて哀悼を捧げますとともに、ご遺族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、災害救援と復興を支援してくれたすべての国民に感謝するとともに、国際社会の気遣いにご支援にも感謝します。

中央政府はすでに二八五億五〇〇〇万円の予算を投入して、復旧作業と産業の振興を支援し、花蓮の人々が一日も早く通常の生活に戻るよう協力しています。

私は、今後の中央政府と地方政府の協力、行政と立法の協調運営に大きな期待を寄せています。またすべての国民と手を取り合い努力して、ともに台湾の民主主義を深化させ、インド太平洋地域の平和を維持し、世界の繁栄を促進してまいる所存です！

二、民主主義の台湾、世界の光

国民同胞の皆さん、民主、平和、繁栄は台湾の国家路線であり、また台湾と世界をつなげるものでもあります。

台湾は「ワールドデモクラシーチェーン」のハイライトです。民主的な台湾の輝かしい時代が到来したのです！

台湾は総統の直接選挙の開始以来、世界で最も活発に発展してきた民主国家の一つとなりました。私たちは人権を改善し続け、民主主義と自由の価値を世界に示し続けています。

台湾はアジアで初めて同小生婚を合法化した国です。

台湾は、民主的な感染症対策が権威主義的な感染症対策より優れていることを実証しました。

台湾は民主主義指数であれ、或いは自由度の評価であれ、いずれもアジアのトップクラスに数えられています。民主主義の台湾はすでに世界の光であり、この栄誉はすべての台湾の人々のものです。

今後も、新政府は台湾



の民主主義の活力を生かして国家発展を推進し、国際協力を深めていきます。

対内的には、私は才能に基づいて人材を起用し、清廉かつ勤勉な政治を行い、民主的なガバナンスを実施し、開かれた政府を確立します。「公開性、透明性」および「国民が主人である」との精神に基づいて国民が公共政策に参加することを奨励します。また、引き続き公民権年齢の一八歳への引き下げを推進し、共同で国のビジョンを実現するために取り組んでまいります。

対外的には、私たちは引き続き民主主義国家とデモクラシー共同体を形成し、さまざまな分野での発展経験を相互に交換します。また、協力して偽情報と闘い、民主主義の強韌性を強化し、さまざまな課題に対応して台湾を民主主義世界のWTPにします！

三、民主主義の台湾、世界平和の舵取り

平和は貴重で、戦争に勝者はいません。来年、第二次世界大戦終結から八〇年を迎えます。台湾も他の国々と同様、戦後の苦しい復興の道を経て、今日の発展を遂げてきました。戦争によつてすべてが破壊されることを望んでいる人はいません。

今日、ロシア・ウクライナ戦争とイスラエル・ハマス戦争は引き続き世界に衝撃を与えており、中国の軍事行動とグレーゾーンでの脅威は世界の平和と安定に対する最大の戦略的課題と見なされています。

台湾は「第一列島線」

の戦略的位置にあり、世界の地政学の発展に影響を与えています。蔣渭水氏はすでに一九二一年の段階で台湾が「世界平和への第一関門の守護者」であると指摘してまいりました。二〇二四年の今日、台湾の役割はさらに重要になっています。

国際間にはすでに、台湾海峡の平和と安定は世界の安全と繁栄にとって不可欠な要素であるという高度なコンセンサスがあります。

現在の複雑な国際情勢に対応するため、世界各国は積極的に協力し、地域の平和と安定を維持しようとしています。つい先月、米国は「インド太



「平洋軍事支援を含む追加予算案」を可決し、インド太平洋地域に追加の安全保障支援を提供し、台湾海峡の平和と安定を支援することになりました。

私たちは、世界各国の台湾に対する関心と支援に感謝しています。また、台湾にとって民主主義と自由は譲ることのできないものであり、平和が唯一の選択肢であり、繁栄が長期的な平和と安定の目標であることを世界に向けて宣言します！

台湾海峡兩岸の将来は世界情勢に決定的な影響を与えます。

台湾の民主化を担う私たちは平和の舵取り役でもあるのです。新政権は「四つの堅持」に基づき、へつらわず、高ぶらず、現状維持に取り組んでまいります。

また、私は中国に対し、台湾への言論での威嚇や武力による挑発をやめるよう求めます。台湾とともに世界的な責任を負い、台湾海峡と地域の平和と安定を維持することに尽力し、世界を戦争の恐怖



から解放しなければなりません。

台湾の人々は平和を愛し、他人に対して親切です。私は、国家の指導者が国民の福祉を最優先に考えるのであれば、台湾海峡を越えた平和、互恵、共存、共同繁栄が互いにとって共通の目標となるべきであると確信しています。

従って、私は中国が中華民国の存在事実を直視し、台湾人民の選択を尊重することを望みます。また、誠意をもって民主選挙で選ばれた台湾の合法的な政府と対等、尊厳の原則の下で、対抗ではなく対話を、封じ込めではなく交流を進め、協力し合うことを望みます。まずは、対等な形で相互の観光往来と台湾への留学を再開し、共に平和と共栄を追求することから始められると考えています。

国民同胞の皆さん、私たちは平和を追求するという理想を持っていますが、幻想を持つことはできません。中国はまだ台湾に対する武力侵攻の可能性を断念していません。中国の提案を全面的に受け入れ主権を放棄したとしても、中国の台湾併合の企みは消えることはないことを国民の皆さんは理解すべきです。

中国からのさまざまな脅威や浸透に対して、私たちは国を守る決意を示し、国を守るすべての国民の意識を高め、国家安全保障の法制度を改善し、「平和のための四つの支柱アクション」を積極的に実行しなければなりません。国防を強化し、経済の安全保障を構築し、兩岸関係において安定し、かつ原則に基づいたリーダーシップを発揮します。価値観外交を推進し、世

界中の民主主義国家と肩を並べて、平和の共同体を形成することによって抑止力を発揮し、戦争を回避し、実力によって平和という目標を達成せねばなりません。

四、民主主義の台湾、世界繁栄の牽引役

台湾は世界を必要とし、世界は台湾を必要としています。台湾は世界への扉を開いただけではなく、すでに世界の舞台の中心にいるのです！

未来の世界に目を向けると、半導体がいたるところに普及し、AIの波が世界中に押し寄せています。現在の台湾は、半導体の最先端のプロセス技術を掌握し、AI革命の中心に立っています。それは「世界の民主的サプライチェーン」の鍵を握る存在であり、世界経済の発展と人類の生活の幸福と繁栄に影響を与えています。

国民同胞の皆さん、我々が中華民国台湾の将来は二、三〇〇万の人民が共同で決定するものだと言張するとき、私たちが決める未来は、私たちの国の未来だけでなく、世界全体の未来になるのです。

私たちは正しい道を歩まなければなりません。そして、私たちの産業はその能力を発揮し、世界を繁栄させる立役者とならなければなりません。台湾が一歩前進すれば、世界も一歩前進するのです。

これまで、私は行政院長、副総統を務め、全国各地の企業を

訪問し、台湾産業のポテンシャルとニーズを理解してきました。将来、政府は産業界と緊密に連携して、次の三つの大きな方向性を掲げ、台湾の発展を推進してまいります。



一つ目の方向性は「未来を見据えたスマート化とサステイナブル」です。気候変動の危機に直面する中、私たちは二〇五〇年のネットゼロ移行を断固として実行しなければなりません。グローバルインテリジェンスの波に直面する中で、私たちは半導体チップのシリコンアイランドを基礎として、台湾が「AIの島」になるよう推進し、AIの産業化を促進します。また、AIの革新的な応用を加速し、AIのコンピューティング能力を利用して、国力、軍事力、マインドと経済力を強化していきます。

また、イノベーション主導型の経済モデルを発展させ、デジタルトランスフォーメーションとネットゼロトランスフォーメーションの二つを軸として、中小企業のアップグレードと変革に協力し、包摂的な成長を追求し、スマートで持続可能な新台湾を構築し、そして、台湾に第二次の経済の奇跡をもたらします。

スタートアップ企業への投資や新世代の「隠れたチャンピオン企業」の育成に加えて、量子コンピューター、ロボット、メタバース、精密医療など、各分野の先進的なテクノロジーにも大胆な投資を行います。若者が自分の夢を追うことができるようにすると同時に、台湾が将来、世界をリードする地位を確保できるように取り組んでまいります。

二つ目の方向性は、「航空宇宙産業の競争参入と海洋の探索」です。

私たちは、民主国家によるドローン産業のサプライチェーンにおいて台湾をアジアの中心に位置づけるとともに、中低軌道の次世代通信衛星の開発に力を入れ、世界の航空宇宙産業に参入するという目標を設定しました。

また、私たちは海洋を探索し、海洋国家の優位性を最大限に発揮し、国民の海洋生活を豊かにし、海洋科学技術の研究に投資して海洋産業の発展を推進し、国家の競争力を強化します。私たちは、台湾の経済と産業がより多くの方向に発展することを望んでいます。

三つ目の方向性は「グローバルな布陣と、全世界でのマーケットイング」です。

台湾はすでにCPTPPへの参加を申請しており、私たちは積極的に地域経済統合への参加を目指します。世界中の民主主義国家と二国間投資保障協定を締結し、貿易パートナーシップを深化させます。また、炭素関税の問題を解決し、発展の余

地をさらに拡大することに取り組んでまいります。

我々はまた、グローバルサプライチェーンにおける重要な地位を維持し、地政学的な変化がもたらすビジネスチャンスをつえ、半導体、AI、軍事産業、セキュリティ制御システム、次世代通信といった「五大信頼産業」を育成します。さらに持続的に投資環境を改善し、海外に進出する台湾企業のUターン投資を歓迎し、地場企業が投資を拡大し、台湾に止まり続けることを奨励します。

私は各業種の人々に保証いたします。皆さんが野心と志をもってトップを目指すならば、政府にも皆さんを全面的にバックアップする決意があります。台湾の産業が台湾に立脚し、グローバルに展開し、全世界でマーケットイングができるよう支援してまいります！

台湾は経済分野で「太陽の沈まない国」になれる能力を絶対に持っています。太陽がどこから昇ろうとも台湾企業を照らし、地域の発展に利益をもたらし、台湾の人々がより豊かな生活を送れるようにするのです！

五、民の幸せを楽しみ、民の悩みを憂う

私は、経済発展の成果がすべての人々によって共有されるべきであると強く信じています。今後は「希望のための国家プロジェクト」の推進と、社会投資の拡大によって、愛と道徳的な勇気を持つ台湾社会を築いてまいります。それは若者が希望



を見ることができ、中年層が夢を実現でき、高齢者が幸福を得ることができ、弱者はケアされることができる社会です。誰もが人生のあらゆる段階で政府の支援を受けることができます。今後も、保育、介護、公営住宅などのサービスを拡大し続けます。

物価、住宅価格、貧富の差などの問題も継続的に改善されなければなりません。

食品の安全、交通の安全、キャンパスの安全、社会的セーフティネットなどの保障も、継続的に強化されなければなりません。

また、教育、司法、移行期正義などの改革にも取り組み続けなければなりません。

国民の生活上の不安や期待は私も理解しています。皆さんが懸念している問題や社会が必要とする改革に、政府は積極的に対応し、全力で取り組んでまいります。

誰もがより高い収入を望んでいます。私は産業

の高度化を推進し、より良い給与環境を作ります。

誰もが治安の向上を望んでいます。私はブラックマネー、拳銃、麻薬や詐欺を積極的に取り締まります。

誰もが安定した電力供給を必要としています。私は第二次エネルギー転換を推進し、多様なグリーンエネルギーとスマートグリッドを発展させ、電力システムの強靱性を強化します。

誰もが労働保険の財政について懸念しています。私は政府が存在する限り、労働保険は決して破綻しないことを改めて強調します。

誰もが交通問題を重視しています。私は人を中心とした交通環境づくりに取り組み、「歩行者地獄」の悪評を払拭します。

誰もが政府には、家族の介護者の負担軽減や産業界の労働力不足の窮状改善への支援を期待しています。これらの問題は、私が積極的に解決してまいります。

将来に向けて、私たちは皆、台湾がより強靱になることを期待しています。感染症や自然災害などさまざまな種類の災害に適切に対応し、都市の再開発を加速させ、老朽化した古い建物の問題を解決できるよう期待しています。

私たちはまた、台湾がより健康になることを期待しています。私は医師としての専門性を活かして、あらゆる分野の人たちの力を結集してがんばります。また、「体育及びスポーツ発展部」を設立し、国民がスポーツを楽しむようにします。さらに全民健康保険の持続可能な運営を確保し、国民が健康で

長生きできるよう取り組んでまいりたいと思います。

将来の台湾は、多様な生態環境と多様な民族文化を持ちます。環境の持続可能性と文化の持続可能性を実践して、より良い国になるでしょう。

将来の台湾は、より多様化した革新的な経済や、より普及したデジタル技術の応用、より優れた競争力とバイリンガル能力、より強力な公的支援サービスシステム、そしてジェンダー平等を尊重する環境を持ち、すべての国民の権利が確実に保護されることになるでしょう。

将来の台湾は、すべての県と市がその特色に応じて発展し、地方創生事業を推進し、「バランスのとれた台湾」という目標を実行します。誰もが平和に暮らし、誰もが幸せに働けることになるでしょう。

六、団結の力で、国を強化し続ける

親愛なる国民同胞の皆様、国の将来の発展にはあらゆる力が必要です。グローバル化と全方位競争の時代の中、どの国も単独で戦うことはできず、どの分断社会もうまく立ち向かうことはできません。

団結すれば、私たちの歩みはより安定します。お互いをサポートすれば、私たちが歩む道はさらに遠くなります。国の存続と発展のため、民主主義の力ですべての国民を団結させ、国を強くしたいと考えています。

私たちは皆、主権があつて初めて国が存在することを知っています。中華民国憲法は、中華民国の主権はすべての国民に属し、中華民国の国籍を有する者は中華民国の国民であると定めています。このことから分かるように、中華民国と中華人民共和国は互いに隷属していません。誰もが団結して国を愛さなければなりません。どの政党も併呑されることに反対し主権を守らなければなりません。政治権力のために国家の主権を犠牲にしてはなりません。

世界でますます多くの国が台湾の国際参加を公然と支持しています。これは台湾が世界の台湾であり、世界の平和と繁栄にとって信頼できる力であることを証明しています。

全国民はエスニックグループに関係なく、また誰が最初に来たのか、誰が最後に来たのかに関係なく、台湾にアイデンティティを持つている限り、すべての人々はこの国の主人です。中華民国、中華民国台湾、或いは台湾のいずれであっても、これらは私たち、または国



際的な友人が私たちの国を呼ぶ名前であり、それらはすべて同じ響きを持っています。お互いを分け隔てることなく、一致団結して世界へ邁進しましょう！

七、台湾が新たな世界を迎え、世界が新たな台湾を迎える

台湾が世界に向かって歩むと同時に、我々も世界が台湾に入ってくることを歓迎します。多くの新住民や外国の人々が世界各地から台湾にやって来て、台湾のために新たな章を刻んでいます。私は、皆さんに感謝し、また敬意を表します。

今日、ここには、遠路はるばるやってきた海外の皆さんや帰国した台湾出身者がいます。みんな、行動することで台湾のことを応援しています。どうでしょう、皆さん、熱い拍手で彼らに歓迎と感謝の意を表しましょう！

今晚、私たちは国内外の賓客を迎える宴会の開催地を台南に選びました。一六二四年、台湾は台南を起点とし、台湾のグローバル化を始めました。「台南四〇〇年」の歴史的瞬間にあつて、台湾はもつと自信を示し、勇敢に新たな世界に乗り出し、世界に新しい台湾を迎え入れてもらいましょう。

すべての国民の皆さん、私と一緒に、私や皆さんを育んでくれた母なる台湾に拍手を送りましょう。私たちはともに、自らの行動をもって台湾を守り、台湾を讃え、世界に台湾を受け入れさせ、そして台湾を世界で尊敬される偉大な国にするのです！

ありがとうございました！

第16代 総統 副総統 就任 公式晩餐会
「国宴」は台南で開催



頼清徳総統（中央）と蕭美琴副総統（右）の就任を祝う公式晩餐会「国宴」が20日、初めて台湾南部・台南市で開催された。写真左は頼清徳総統の夫人、呉玟如さん。（総統府）

賴清徳総統は「国宴」の挨拶で、台南での開催を決めた理由について、ゼーランディア城建築四〇〇年の節目であることと同時に、新政権が目標に掲げる「都市と地方のバランスの取れた建設」を実践するためと語った。

賴総統はまず、「国宴」のために台南に集まった国交樹立国の国家元首やその他の国々の来賓、駐台使節及び代表らに謝意を示した。賴総統は、今回の就任式典には海外から五〇〇人余りの来賓が参列したこと、これらの来賓たちが台湾に持ち込んだのは祝福の気持ちだけでなく、台湾の人々に対する揺るぎない友情や、台湾社会を支える力でもあると述べた。また、国内外の来賓がともに台南で開催される「国宴」に出席し、台湾の民主主義の一大イベントに彩りを加えたことに感謝した。

賴総統はまた、国賓らが台湾高速鉄道で台北から台南まで移動したことを踏まえ、車窓から見える景色や都市の景観の姿



化などから、台湾が持つ文化や景観の多様性を理解できただろうとした上で、今回台南を「国宴」開催の場所に選んだ理由について、新政権が掲げる「（都市と地方の）バランスの取れた台湾」という目標を実践し、台湾のあらゆる場所を安心して暮らし、楽しく働けるところにするためだと説明した。

賴総統はまた、「台湾高速鉄道が台南駅に差し掛かったとき、南部科学園区（サイエンスパーク）が見えたと思うが、ここにはまさに台湾の半導体大手、台湾積体電路製造（TSMC）の工場がある。また台南駅の近くには「沙崙智慧緑能科学城（沙崙スマートグリーンエネルギーサイエンスシティ）」があるが、ここは将来、台湾のグリーン・エネルギー産業発展において重要な拠点の一つとなるところだ」などと説明した。

賴総統はさらに、台南市には至るところに文化財があり、どこにいても美味しい食べ物にありつけるが、このような特色は何も台南に限るわけではなく、台湾全土二十二県・市の至るところにこうした精神があふれており、機会があればぜひ台湾のさまざまな都市に足を運んでみて欲しいと呼びかけた。



中華民國台灣國民各位

この度の震災に際し、心よりお見舞い申し上げます。台湾花連一帯は、被害甚大の趣に、報道により拝承致しました。被害のほどが案じられ、憂慮申し上げます。損害の軽微と一日にも早い復旧をお祈り致します。



台灣地震義援金寄附者名簿

衛 藤 征士郎
赤 澤 亮 正
小 里 泰 弘
尾 身 朝 子
金 田 勝 年
坂 本 哲 志
下 村 博 文
鈴 木 俊 一
土 井 亨
宮 下 一 郎

張 建 国
張 碧 華
並 木 正 芳
岩 田 善 信
赤 松 則 宏
榎 本 有 里
森 康 郎
富 田 家 彰
明 石 散 人
富 田 茂 之

熊 沢 正 幸
浅 見 哲
鈴 木 慶 一
安 部 英 行
李 孔 曉
縫 田 優 美



事務局だより

＊（一社）日本台湾親善協会 特別講演会 開催予定

講師 寺島実郎先生

一般財団法人 日本総合研究所会長

演題 「世界構造変化と東アジアの視界

台湾をどう認識するか」

日時 令和六年六月二〇日（木）

一七時～一八時（二時間）

場所 海運クラブ 「二階ホール」

東京都千代田区平河町二六四 海運ビル

対象 （一社）日本台湾親善協会会員・関係者（二〇〇名）

会費 一万円

＊ 令和六度通常総会、懇親会の開催予定

日時 令和六年六月二〇日（木）

一八時～二〇時

場所 海運クラブ 「二階ホール」

東京都千代田区平河町二六四 海運ビル

会費 一万円

原稿募集

皆様の投稿をお待ちしております。台湾に関するものばかりでなく、身の回りのことなど、ご自由にお寄せ下さい。
紙媒体でも E メール でも事務局宛てにお送りいただければ幸いです。

季 刊 **亜 東** （アジアの架け橋） 令和六年 春季号（No.89）

発行日 : 令和 6 年 5 月 22 日

発行所 : 一般社団法人日本台湾親善協会

発行人 : 衛藤征士郎

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印 刷 : 株式会社サンユー



台湾の翼 チャイナ エアラインなら、 うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事でのご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください



Home page



Face book



Twitter



Instagram